

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウェッズ

コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上村 定芳

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,108	1.7	1,626	△7.2	1,750	△2.6	1,131	0.3
26年3月期第3四半期	20,751	3.2	1,752	9.4	1,797	7.1	1,127	6.0

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 1,961百万円 (35.5%) 26年3月期第3四半期 1,448百万円 (8.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	136.63	—
26年3月期第3四半期	136.20	—

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出してあります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	20,455	11,366	55.6	1,372.96
26年3月期	15,353	9,984	65.0	1,206.01

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 11,366百万円 26年3月期 9,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	1.1	2,100	1.6	2,150	1.5	1,320	1.5	159.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	8,279,158 株	26年3月期	8,279,158 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	240 株	26年3月期	240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	8,278,918 株	26年3月期3Q	8,278,950 株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の金融・財政政策により、円安・株高基調が継続しており、引き続き穏やかな回復はみられたものの、個人消費は消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化により消費需要は低迷しました。また急激な円安によるエネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなどの不安材料も抱えており引き続き不透明な状況が続いております。このような環境の中、当連結会計年度の売上高は、当社グループのメイン事業である自動車関連事業の売上増加により21,108百万円（前年同期比1.7%の増収）と増収となりました。営業利益、経常利益につきましては、個別業績に於いては増益であったものの小売事業及び福祉事業の収益悪化が影響し営業利益は1,626百万円（前年同期比7.2%の減益）、経常利益は1,750百万円（前年同期比2.6%の減益）と僅かながら減少しました。また、四半期純利益につきましては、1,131百万円（前年同期比0.3%の増益）で増益という結果となりました。

なお当社は連結売上高の85%程度を単体売上高が占めており、連結業績の大半を占める単体業績は増収増益となっています。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第3四半期 連結累計期間	18,769	1,229	412	770	△73	21,108
	前第3四半期 連結累計期間	18,314	1,319	443	734	△60	20,751
セグメント利益 又は損失(△)	当第3四半期 連結累計期間	1,641	7	△80	46	12	1,626
	前第3四半期 連結累計期間	1,696	57	△48	45	1	1,752

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は、18,769百万円となり前年同期比455百万円(2.5%)の増収となりました。これは、主力である中級・廉価アルミホイールが好調に推移し増加したためであります。しかしながら、個人消費の低迷等による高級アルミの減少また急激な円安による原価高も影響しセグメント利益は1,641百万円と前年同期比54百万円(△3.2%)の減益となりました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は消費税率駆け込み需要の反動の長期化により1,229百万円となり前年同期比90百万円(△6.8%)の減収となりました。これに伴い、セグメント利益は7百万円となり前年同期比50百万円(△87.6%)の大幅減益となりました。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、入居者増加に努めてまいりましたが競争は厳しく、412百万円と前年同期比31百万円(△7.1%)の減収となりました。セグメント損失は売上高の減少及び費用削減も進まず、80百万円となり前年同期比32百万円の損失の増加となりました。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高は、ソフトバンクが好調で703百万円となり前年同期比35百万円(5.4%)の増収、賃貸事業の売上高は前年とほぼ同額の67百万円となり、合わせて770百万円で前年同期比35百万円(4.9%)の増収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業においては前年若干プラスの7百万円でまた、賃貸事業は38百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて46百万円と前年同期比、若干額(1.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における資金については、主として売掛債権の発生期にあたり短期借入金2,820百万円を実施し、一方、長期借入金の返済120百万円を実施いたしました。当第3四半期連結累計期間における資金については、運転資金は金融機関より短期借入金で対応し、大規模な設備投資等の必要資金については資金必要時の金融状況を鑑みて、所定の社内手続を経て金融機関より長期及び短期の借入金にて賄う方針であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月13日付当社「平成26年3月期決算短信」にて発表いたしました、平成27年3月期通期(連結・個別)の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,385,262	1,667,471
受取手形及び売掛金	3,875,055	6,658,511
商品	2,125,785	2,994,787
仕掛品	215,629	238,194
原材料及び貯蔵品	39,584	50,362
繰延税金資産	36,823	30,492
デリバティブ債権	1,121,459	2,288,860
その他	291,281	195,868
貸倒引当金	△5,941	△2,473
流動資産合計	9,084,941	14,122,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,646,160	3,655,399
減価償却累計額	△1,722,794	△1,808,537
建物及び構築物(純額)	1,923,366	1,846,862
土地	2,374,077	2,374,077
その他	677,939	736,777
減価償却累計額	△512,412	△557,515
その他(純額)	165,526	179,261
有形固定資産合計	4,462,970	4,400,201
無形固定資産		
のれん	147,800	137,075
その他	37,071	46,137
無形固定資産合計	184,871	183,212
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074,248	1,237,643
繰延税金資産	31,813	35,677
退職給付に係る資産	88,796	81,235
その他	429,143	411,352
貸倒引当金	△2,900	△15,945
投資その他の資産合計	1,621,101	1,749,963
固定資産合計	6,268,944	6,333,377
資産合計	15,353,885	20,455,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,172,357	2,641,444
短期借入金	770,000	3,590,000
未払法人税等	634,477	408,513
携帯電話短期解約返戻引当金	232	560
賞与引当金	123,546	132,634
役員賞与引当金	29,100	29,175
繰延税金負債	251,837	677,898
その他	614,380	924,079
流動負債合計	4,595,932	8,404,307
固定負債		
長期借入金	280,000	160,000
繰延税金負債	151,094	183,122
修繕引当金	42,000	52,500
役員退職慰労引当金	22,868	26,455
退職給付に係る負債	64,363	69,543
資産除去債務	19,169	19,497
その他	194,025	173,427
固定負債合計	773,521	684,546
負債合計	5,369,453	9,088,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	7,415,797	7,967,459
自己株式	△129	△129
株主資本合計	9,070,508	9,622,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,503	243,200
繰延ヘッジ損益	721,771	1,473,110
為替換算調整勘定	31,648	28,118
その他の包括利益累計額合計	913,923	1,744,430
純資産合計	9,984,431	11,366,600
負債純資産合計	15,353,885	20,455,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,751,265	21,108,181
売上原価	15,714,624	16,177,362
売上総利益	5,036,641	4,930,818
販売費及び一般管理費	3,283,771	3,304,313
営業利益	1,752,870	1,626,505
営業外収益		
受取利息	1,910	627
受取配当金	14,492	14,558
持分法による投資利益	56,015	53,727
受取補償金	—	52,440
その他	7,573	20,329
営業外収益合計	79,992	141,683
営業外費用		
支払利息	8,305	7,970
為替差損	26,750	6,428
その他	732	3,023
営業外費用合計	35,788	17,422
経常利益	1,797,073	1,750,767
税金等調整前四半期純利益	1,797,073	1,750,767
法人税、住民税及び事業税	673,214	618,375
法人税等調整額	△3,713	1,205
法人税等合計	669,500	619,581
少数株主損益調整前四半期純利益	1,127,573	1,131,186
四半期純利益	1,127,573	1,131,186

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,127,573	1,131,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,207	82,697
繰延ヘッジ損益	291,681	751,339
為替換算調整勘定	15,656	△3,529
その他の包括利益合計	320,545	830,507
四半期包括利益	1,448,118	1,961,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,448,118	1,961,693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	18,254,599	1,319,246	443,515	20,017,361	733,903	20,751,265	—	20,751,265
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	59,667	217	—	59,885	612	60,497	(60,497)	—
計	18,314,267	1,319,464	443,515	20,077,247	734,515	20,811,763	(60,497)	20,751,265
セグメント利 益又は損失 (△)	1,696,441	57,428	△48,400	1,705,469	45,470	1,750,940	1,929	1,752,870

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,929千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	18,702,480	1,223,093	412,146	20,337,721	770,460	21,108,181	—	21,108,181
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	66,883	6,243	—	73,126	—	73,126	(73,126)	—
計	18,769,364	1,229,337	412,146	20,410,847	770,460	21,181,307	(73,126)	21,108,181
セグメント利 益又は損失 (△)	1,641,519	7,124	△80,447	1,568,195	46,309	1,614,505	12,000	1,626,505

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,000千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年1月29日開催の取締役会にて決議の上で、株式会社東京車輪 代表取締役会長 船戸和男氏との間で、株式会社東京車輪の株式過半数を取得することについて株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 取得株式数

総株式数の70%

2. 株式取得日 (予定)

平成27年1月30日

3. 今期の業績見通し

第4四半期から株式会社東京車輪が当社の連結対象になり、今期連結業績には増収増益要因になりますが、対象期間が短いことなどから平成27年3月期通期の当社連結及び単独業績予想数値に与える影響は軽微であると考えられ、本日発表した業績予想数値は従前のものから変更しておりません。

<ご参考>

当社は、今後も事業の拡大、成長のために業務提携、合併などについて前向きに検討・対応していきます。